



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員連絡協議会（さくら会）

ホームページ「都教組杉並支部」で検索

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

高井戸中学校にいま アンネのバラ 美しく^{〰〰〰}



オランダのアムステルダムに住むアンネ・フランクの父親オットーさんからアンネのバラ3株が高井戸中に送られ、1976年6月12日（アンネの誕生日）に校庭に植えられました。

以来42年、このバラは、今日もやさしい色合いと香りで「平和の大切さ」を呼びかけています。

都教組杉並支部 秋の教育のつどい

アンネのバラと私の平和への思い

10月26日（金）阿佐谷地域区民センターでこのつどいは開催されました。1974年、国語の小林桂三郎先生と「アンネの日記」を学んだ当時2年生だった高原美和子さん（現富士見丘中教員）がこの日の講師でした。

2年生で使った国語教科書、感想文集「暗い炎の後に」などと、文集表紙をかざった版画の版木まで提示してのお話でした。

つどいには、若い教員、OB、地域の方々、高井戸中のアンネのバラ・サポーターの方々も参加し、「よい教材はいつまでも心に残る...」「バラを守り育てる多くの方々の思い...」など有意義な話し合いがもたれました。



この文章（下に掲載）に出会ったのは、9月20日、板橋の成増・アクトホールで行われていた「板橋退教作品展」です。知人の絵や写真にも会いましたが、会場に置かれていた文集「私たちの時代」1号から21号までが目をつきました。

その1号に掲載されていたのが板退教、高原結子さんのこの文章です。杉並の学童疎開にもふれられていたので紹介します。

前ページの高原さんとは別の方です。文章の一部を省略してあります。

写真は杉並郷土博物館・杉並の学童集団疎開展「おさな心を捨てて...」より。

杉並退教 高木 堆芳（たかぎ たかし）

たったひとつのお菓子のために

板橋退教 高原 結子

1944年に満州から引き上げ、山形の叔父の家に同居させてもらいました。叔父の所には三人の従弟がいました。一番下が6年生で、私は3年生でした。

夏のある夜、隣組の常会がある予定だったが、警戒警報が出て中止になったので、当番の家で用意したお菓子が、各家庭に配られました。終戦の前の年でお菓子などは全く手に入らない時です。叔母が、私たち兄妹三人と、自分の子三人に分けてくれました。

私は、さっさと食べてしまったのですが、すぐ下の妹は、蚊帳の中でお菓子を手のひらにのせて横になっていました。きっと、もったいなくて食べられなかったのでしょう。警戒警報発令中なので、家の中は真っ暗です。突然、妹が「敦ちゃんのお菓子がない！」と、大声をあげました。すかさず叔母が「晃！」と、どなりました。6年生の従弟が、蚊帳にそって這ってきて、さっと取って食べてしまったのです。

小さなおまんじゅうが一つずつでしたから、もっとほしいと思ったのも無理はありませんが、泣いている妹に、代わりのお菓子をやることのできなかった母や叔母も、どんなに辛かったことでしょう。

今でも時々妹と、あの頃の話をして「ひどい時代だったよね。」と、苦笑いすることがあります。

同じ年の12月に、山形から長野の別所温泉に引っ越しました。各旅館には、学童疎開で杉並の学校児童が来ていました。母の実家も旅館なので、西田国民学校の児童が来ていました。前の旅館には、桃井第二国民学校児童が入っていました。学校の教室も、いくつかは杉並の子どもたちが使っていました。

3学期になって、疎開の子どもたちに、『皇后陛下からお菓子が下賜』されたということで、私たち、村の子どもにもおすそわけがありました。小さなクッキー

のようなものが一つだったと思います。

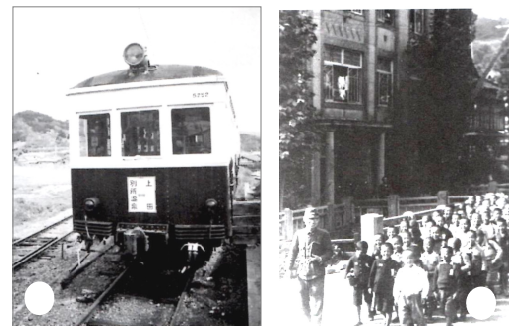
そのたった一つの小さなお菓子のことを全員が作文にさせられました。題も『皇后陛下にお菓子を頂いて』に、強制的に決められました。どんなことを書いたかは全く覚えていませんが、ませていた私は、かなり大人受けするものを書いたのだらうと思います。なぜかという、校長の息子と私が、代表に選ばれて、放課後、何回かやり直しをさせられながら、清書をさせられたからです。電灯の設備もなく、だんだん薄暗くなっていく暗い教室で、書き直しさせられているうちに、「あんなに小さなお菓子のために、私はひどいめにあっているのだ。あんなもの、もらわなければよかった。早く家に帰っておこたに入りたい。」と、むしように腹が立ってきました。

(途中省略) どうも、私の戦争体験は「食いの恨み」ばかりのようです。



西田疎開児童(和泉屋) 皇后陛下から恩賜の菓子(ビスケットの袋) 桃井第二(緑屋旅館) 散歩=別所温泉街 上田丸子電鉄別所線 「集団で登校」アサヒホテル前

【下は中松屋旅館に疎開した・杉五女児の回想】



「道」

ほかにどんなやり方があったらう
線路に沿って自分の足で歩きたす以外に
道はたに生えているスカンポの
「こわこわすっぱい葉を噛みながら
東京の方をめざす以外に

「脱走だと騒がれて」

上田を出たあたりでつかまってしまった
きれいに澄んだ自然の寂しさに
とつぶりひたつて

自分で決めて自分で歩いた
何十キロかの道の自由よ

馬鹿者の この非常時に
子供だつて銃後の兵士なんだ

そんな甘ったれた根性でどうするかい
連れ戻されてこもこもの
説教と向き合いながら

その教師たちの心から遠くはなれて
自分の内に姿を現してきた
何か深く大きなものへ

「長野県別所村より」から
子どもは憧れはじめていた

中田 雅子

添田善吉さんを偲ぶ

9月22日、添田さんの奥さん、芳さんから携帯メールをいただきました。

ご無沙汰いたしました。突然のメールですみません。夫が9月15日に亡くなりました。19日に葬儀を済ませました。長い間お世話になりました。

添田さんのやさしい笑顔、背広にスニーカーのあの懐かしい姿がよみがえりました。

80年代後半の労働戦線問題で尽力され、1990年杉並支部再建以来四年間、都教組杉並支部の執行委員長としてがんばってくださいました。

中学校体育の教師として、

スキーはもちろんのこと、スケッチやオカリナづくり、釣りなど多彩な趣味をお持ちでした。

退職後は、故郷福島の南会津にログハウスをつくり、友人をむかえたり、畑仕事をしたり、地域活動にも努力されてきました。

享年84歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

杉並区退職教職員協議会



1991年 対区要請 笑顔で挨拶

11月25日(日)は さくら会ハイキングです 紅葉を愛でオシャレレストランでランチを!

- 日時 11月25日(日) *雨でも行きます。
- 小田急新宿駅西口 1階改札口 9時30分集合(9時41分発 唐木田行乗)
- 小田急多摩線 唐木田駅改札口 10時20分 合流も可
- コース 唐木田駅-鶴牧西公園-宝野公園-多摩中央公園 多摩センター駅-レストラン「AW Kitchen」(多摩市山王下2-2-2 043-319-6728)
- 多少アップダウンのある道を1時間強歩きます。
- 高台のレストランでパスタ料理です。
- 費用 食事代 1890円 + 飲み物代 + 交通費
- *歩きやすい服装で...防寒にも注意。 暖かい飲み物もいいね。
- 申込み 11月19日(月)までに、同封の申込み用紙に記入し都教組杉並支部までFAXしてください。03-3399-3855
- 電話の場合 03-3399-8719 へ(留守録OKです)

レク係 菅原 春枝

うれしかったこと

沖縄知事選でオール沖縄・県民の力と野党5党の推薦で、玉城・デニーさんが当選。那覇市長選で城間幹子さんが当選したこと。

* どうも、いやなことの方が多いですね。

いやだったこと

沖縄県の「辺野古埋め立て承認撤回」に対して、政府・石井啓一国土交通相が「執行停止」決定。工事を再開したこと。

森友学園問題で籠池夫妻が投獄されているとき、一方の当事者・安倍昭恵氏が首相と手をつないで米国行き政府専用機のタラップを上る姿。

延期されていた消費税8% 10%が来年10月から実施と安倍首相。低所得者ほど重くなるこの税制。所得格差はさらに広がること必至。

「たちあがれ日本」 政界を渡り歩いて自民へ復帰。瑞穂の國学園に最大限の賞賛のメール。あの平沼赳夫氏に秋の叙勲(旭日大綬章)。エー！

おもしろ川柳俳句

- ・ ウソはウソ重ねてみてモウソはウソ
- ・ 押し売りに愛想ふりまき兵器買う
- ・ 異常です気象・総裁・交番が
- ・ スポーツは幹部の私物なのだから
- ・ 放映は災害時なみの総裁選
- ・ 恐いもの親父はついにランク外
- ・ 年金日決まって孫が家へ来る
- ・ 正直が争点となる秋さびし
- ・ 新米を辺野古の塩で結びけり



第45回 杉並高齢者集会 参加しませんか

と き：11月16日(金) 午後1時30分から4時まで
 と ころ：東京土建杉並支部 3階 ホール 高円寺南3-6-2
 地下鉄新高円寺駅下車 青梅街道を荻窪方向に3分 横断陸橋の20m先右手
 参加費：無料 おまけにおみやげ付き (紅白饅頭かな?それとも???)
 講 演：高齢者の暮らしさらに厳しく・・・ならばどうする・・・
 篠崎 次男さん 元立命館大学教授
 元高齢者運動連絡会事務局長
 楽しみ：杉並寄席 落語 立川談之助さん
 寄席文字 春亭右之香さん
 お題「飛躍」の「飛」右之香さんに書いてもらった色紙



羽村・玉川上水取水口散歩 ちよつと一息

小学校では遠足などでよく行く羽村の多摩川上水取水口ですが、陽気もよいのでのんびりと訪ねてみてはどうでしょうか。

* 杉並方面から出かける場合は、時刻表を調べ、中央特快青梅行きに乗車すると乗り換えなしで羽村まで行くことができます。

* 羽村駅で下車したら、進行方向左の多摩川の方向へ向かいます。

このあたりに観光案内所があります。(休日閉店)自転車を借りることも可。新奥多摩街道を渡って坂を下りはじめると右手の石垣のくぼみに、馬の水飲み場がみられます。昔は馬が多かったのでしょう。

左手に「仲里介山墓地入口」の案内があります。左手の坂道を上って奥まったところに小説「大菩薩峠」作者の墓標があります。もとの道に戻ります。左手角地に禅林寺の堂宇が見えます。本堂の前や左手から裏にかけて萩が見られます。今は花が咲いているかな。三門をくぐって出た道を左に進みます。富修家の立派な蔵が左手に三つあります。さらに進むと奥多摩街道と玉川上水の橋があるので渡ります。公園のような落ち着いた空間です。

玉川兄弟の銅像のある広場に出ます。トイレもあるので小休止。多摩川から玉川上水に取水する堰があります。奥多摩街道に上がると向かい側に玉川水神社が。江戸時代は羽村堰の番屋があったのだとか。ダンプカー注意上水の役目を終えた玉川上水ですが、ここまでは大活躍。右手の取水口から取り入れた水は 方向の地下を流下し狭山湖へ。そして都民の飲み水に・・・。

陸橋の下に湧水と大ケヤキ。 北浦酒店・澤ノ井冷やおろし購入 和菓子の山田屋 安いよ 駅の東口前の五の井神社境内の「まいまいず井戸」も見学しよう。

